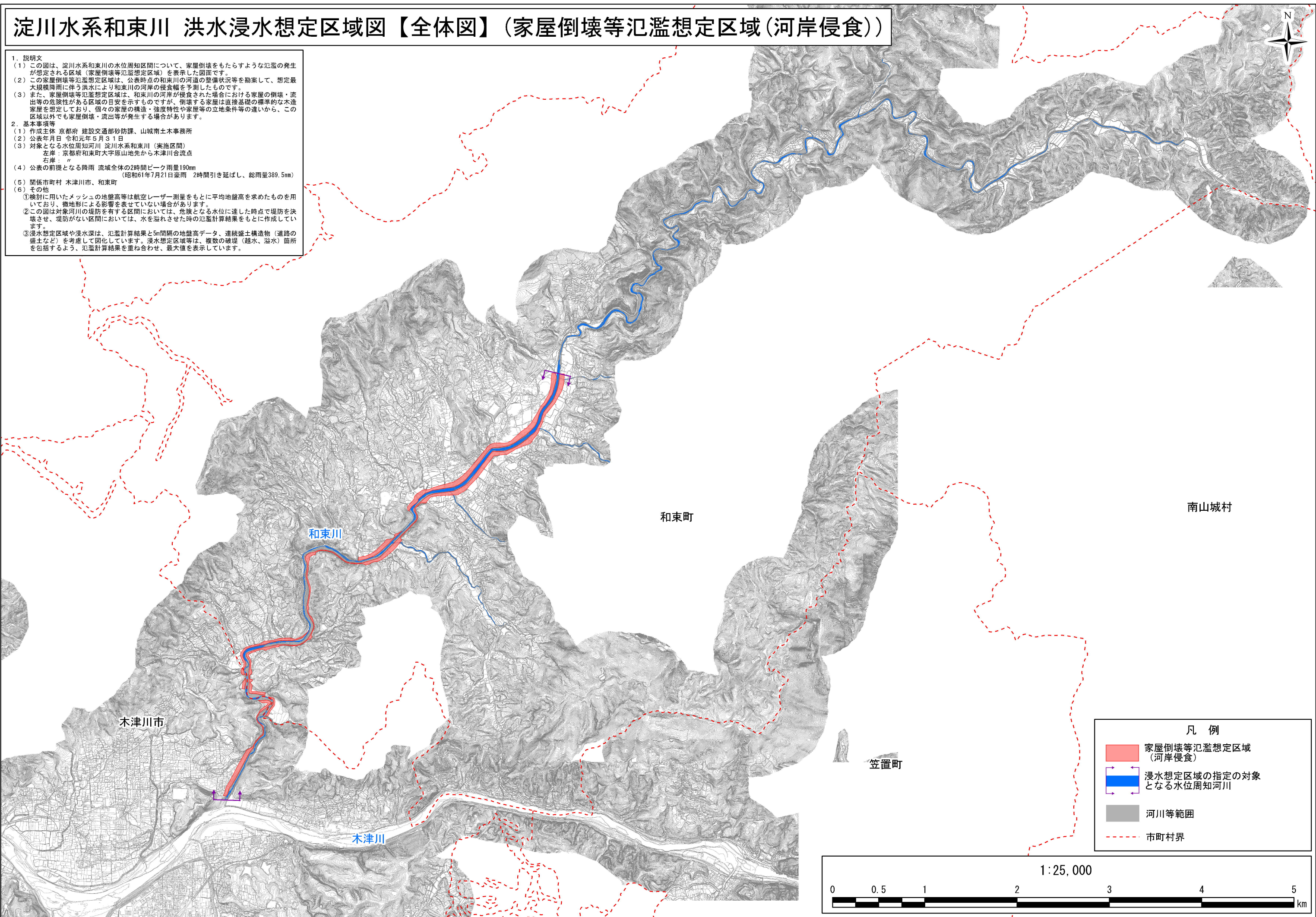


淀川水系和東川 洪水浸水想定区域図【全体図】（家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)）

1. 説明文
(1) この図は、淀川水系和東川の水位周知区間について、家屋倒壊をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の和東川の河道の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により和東川の河岸の侵食幅を予測したものです。
(3) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、和東川の河岸が侵食された場合における家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、倒壊する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定しており、個々の家屋の構造・強度特性や家屋等の立地条件等の違いから、この区域以外でも家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

2. 基本事項等
(1) 作成主体 京都府 建設交通部砂防課、山城南土木事務所
(2) 公表年月日 令和元年5月31日
(3) 対象となる水位周知河川 淀川水系和東川（実施区間）
左岸：京都府和東町大字原山地先から木津川合流点
右岸：〃
(4) 公表の前提となる降雨 流域全体の2時間ピーク雨量190mm
(昭和61年7月21日豪雨 2時間引き延ばし、総雨量389.5mm)
(5) 関係市町村 木津川市、和東町
(6) その他
① 検討に用いたメッシュの地盤高等は航空レーザー測量をもとに平均地盤高を求めたものを用いており、微地形による影響を表せていない場合があります。
② この図は対象河川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で堤防が決壊させ、堤防がない区間においては、水を溢れさせた時の氾濫計算結果をもとに作成しています。
③ 浸水想定区域や浸水深は、氾濫計算結果と5m間隔の地盤高データ、連続盛土構造物（道路の盛土など）を考慮して固化しています。浸水想定区域等は、複数の破壊（越水、溢水）箇所を包括するよう、氾濫計算結果を重ね合わせ、最大値を表示しています。



凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸侵食)
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 河川等範囲
- 市町村界

